

TMS320DM6437 インストレーション・ガイド

日本語版 2008 年 02 月改訂

目次

評価用ボード、キットに関する重要なお知らせ

FCC に関する警告

TMS320DM6437 Digital Video Development Platform をご使用になる前に

DVDP ソフトウェアのインストール

1. DVDP ソフトウェアのインストール手順
2. DM6437EVM ボードの接続
3. CCS の使用方法

評価用ボード、キットに関する重要なお知らせ

テキサス・インスツルメンツ(以下、TI と言います)は、同梱された製品を以下の条件で提供いたします。

本評価用ボードないしキットは、**技術開発、デモンストレーション、若しくは評価目的にのみ**使用されると想定されています。従って、TI は、本品が一般的消費者のための完成品であるとは見做していません。本品を取り扱う方は、電子工学に関する実務経験を有し、且つ良識ある技術的実務基準に従って取り扱う方であればなりません。それゆえ、本品は、半導体集積回路製品や回路基盤を組み込んだ最終製品において通常要求されるような製造物安全や環境保全のための手段を含む設計上、販売上、若しくは製造上の保護的措置に関しては、未成品であります。本評価用ボードないしキットには、電磁気適合性に関する EU の指令、制限下にある物質(RoHS)、リサイクル(WEEE)、FCC、CE、UL 等に関する基準は適用されませんので、従って、これらの指令若しくはその他の指令の技術的要求事項には適合しない可能性があります。

もし、本評価用ボードないしキットがユーザーズ・ガイドに示された仕様に合致しない場合は、本品の送付から 30 日以内に返品して頂ければ本品に対して支払われた代金の全額を返金いたします。本保証は、TI が本品のお客様に対して提供する唯一の保証であり、商品性があることの保証、特定目的に合致することの保証を含めた明示的保証、黙示的保証、法定の保証その他ありとあらゆる保証を排除して適用される保証であります。

本品の使用者は、本品を適正且つ安全に使用することについての全責任を負うものとします。さらに、もし万一使用者による本品の取扱いにより TI が何らかの請求、訴え等を提起された場合は、TI に補償を提供するものとします。本品は、開放的構造になっているため、使用者は、その責任をもって、静電気放電(ESD)に関する適切な予防対策で必要なもの全てを取らなくてはならないものとします。

上記に規定された補償を除き、いずれの当事者も、間接的、特別的、偶発的、派生的損害については責任を負わないものとします。

TI は、現在、多数の顧客と本品に関して取引を行っているため、TI とお客様(貴社、貴殿)との本品に関する取引は、**排他的なものではないものとします。**

TI は、本品を利用するお客様の製品に関する支援、お客様の製品設計、ソフトウェアが動くかどうか、特許侵害、もしくはここに記載されている役務の提供については一切責任を負わないものとします。

本品を取り扱う前に、必ず、ユーザーズ・ガイドをご覧ください。とりわけ、ユーザーズ・ガイドの中の「警告と禁止事項(Warning and Restrictions)」に関するお知らせをご覧ください。そのお知らせには、温度と電圧に関する安全についての重要な情報が含まれています。TI の環境ないし安全に関するプログラムについての追加的情報を得るためには、TI のアプリケーション・エンジニアに連絡して頂くか、若しくは TI のウェブ・サイト www.tij.co.jp/jcorp/docs/esh をご覧ください。

TI は、本品の提供によって、本品若しくは役務が使用され得る若しくは使用されているところの機械、方法、組み合わせをカバーする若しくはそれらに関する特許、その他の知的財産権を許諾するものではないものとします。

FCC に関する警告

本評価ボードないしキットは、**技術開発、デモンストレーション、若しくは評価目的にのみ**使用されると想定されており、従ってTI は、本品が**一般的消費者のための完成品**であるとは見做していません。本品は、高周波 (RF) エネルギーを発生、使用、かつ放射し得ることがあり、且つ電波干渉に対抗するための適切な保護を提供する目的で設定されたFCC規則第15章に従ったコンピューティング・デバイスの制限に適合するか否かの試験は行われておりません。本装置を、無線通信に対する干渉が起り得る他の環境下で操作する場合は、使用者は、自らの費用により、当該干渉を是正するために必要とされる何らかの手段を取らなくてはならないものとします。

TMS320DM6437 Digital Video Development Platform (DVDP) を ご使用になる前に

このたびは、TMS320DM6437 Digital Video Development Platform (以下: DVDP) をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。インストール作業を行う前に、内容物が全て揃っていることをご確認ください(別紙内容物リストを参照)。本ドキュメントは、付属の CD-ROM のインストール手順を示しております。なお、DVDP ソフトウェアがインストールされる PC のハードウェアとソフトウェアの最低限の要件については、次ページ記載の「必要環境」を参照してください。内容物が全て揃っており、要件が全て満たされていることをご確認の上、次ページ以降に示されている手順に従い、ソフトウェアをインストールしてください。

最新の注意点がリリース・ノートに記載されております。リリース・ノートは CD-ROM の ¥ccs¥setup¥docs¥Releasenotes 及び ¥SpectrumDigital¥evmdm6437 ディレクトリ内にありますので、インストールされる前に一度目を通されることをお勧め致します。

本製品をご購入されたお客様が、弊社に交換等を依頼される際には、製品の箱が必要となりますので、箱は捨てずに保管をお願い致します。製品登録がされていない、製品の箱がないといった場合、修理や交換等をお断りすることがありますのでご注意ください。製品登録に関しましては、本製品付属の別紙「はじめにお読み下さい」をご参照ください。

万が一、製品に不備がございましたら、購入された特約店(販売店)、弊社担当営業、または弊社プロダクト・インフォメーション・センター(PIC)までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

* PC は International Business Machines Corporation の登録商標です。

* Windows 2000/XP は Microsoft Corporation の登録商標です。

* Code Composer Studio は Texas Instruments Incorporated の登録商標です。

* その他の製品、サービス名及び登録商標は各所有者に帰属します。

DVDP ソフトウェアのインストール

DVDP に付属する 4 種(計 5 枚)の CD-ROM をインストールする方法について説明いたします。また、DM6437EVM ボードを使用する前に、インストールする PC が以下の基準を満たしていることをご確認の上、下記の手順に従って、ソフトウェアのインストールを行ってください。

必要環境:

- Microsoft Windows™ 2000 SP4, XP Pro, XP Home SP1&2
- 600MHz 以上の Pentium プロセッサ互換
- 600M バイトのハードディスク空き容量
- 128M バイトの RAM
- 解像度 800x600
- CD-ROM ドライブ
- Internet Explorer 5.5 以上 (Release Notes 参照、Update Advisor 登録などのため)
- USB インターフェイスもしくは PCI インターフェイス(エミュレータ接続のため)

推奨環境:

- 2GHz 以上の Pentium プロセッサ互換
- 1G バイトのハードディスク空き容量
- 512M バイトの RAM
- 解像度 1024x768 16 ビット表示可能なカラーディスプレイ

1 DVDP ソフトウェアのインストール手順

付属している CD-ROM の推奨するインストールの順所を以下に示します：

- 1) Digital Video Software Development Kit (DVSDK) (CD-ROM 2 枚)
- 2) TMS320DM6437 DVDP Code Composer Studio™ IDE (CD-ROM 1 枚)
- 3) TMS320DM643x SoC Analyzer (CD-ROM 1 枚) – オプション
- 4) VirtualLogix “VLX for Digital Multimedia” (CD-ROM 2 枚) – オプション

(Software Installation CD + TMS320C6000™ DSP Linux Evaluation Code Generation Tools)

この 2 枚の CD-ROM につきましては、別紙「<TMDXVDP6437 オプション> VirtualLogix™ VLX for Digital Multimedia v2.0 評価版について」をご参照下さい。VLX for Digital Multimedia v2.0 をご使用にならない方は、この 2 枚の CD-ROM のインストールは必要ありません。

注意: 全てのソフトウェアをインストールしてから、PC と EVM の物理的な接続を行ないます。それまでは PC と接続しないでください。また、ソフトウェアのインストールは、ウィルス・チェッカーを OFF にし、アドミニストレータ権限でインストールする必要があるため、CCS を起動するためにはレジストリへの書き込み許可も必要となります。なお、EVM に付属する CCS は、DM6437EVM 専用です。

1.1 DVSDK のインストール

Step1. DVDP 付属の DVSDK インストール CD-ROM のディスク 1 を PC の CD ドライブに入れてください。自動的にインストールメニューが起動します。自動的に起動しない場合は、Windows エクスプローラから CD ドライブのルートディレクトリにある DM6437_DVDP_setupwin32_X_XX_XX_XX.exe (XX: Version) を実行してください。

インストールメニューが表示されたら、指示に従ってインストールを行ってください。デフォルトで C ドライブへのインストールとなりますが、任意のディレクトリに変更可能です。

Step2. もう 1 枚のディスク 2 の CD-ROM は、Step1 でインストールされたデモンストレーション用の音声データ(G.711)と動画データ(H.264)のバックアップファイルであり、これらのファイルは Step1 にて既にインストールされています。必要に応じて、ユーザー任意のディレクトリにファイルをコピーしてください。

1.2 EVM Tools for DM6437 のインストール

Step3. Code Composer Studio EVM v3.3 IDE の CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブに入れてください。自動的にインストールメニューが起動します。自動的に起動しない場合は、Windows エクスプローラから CD ドライブのルートディレクトリにある

Launch.exe

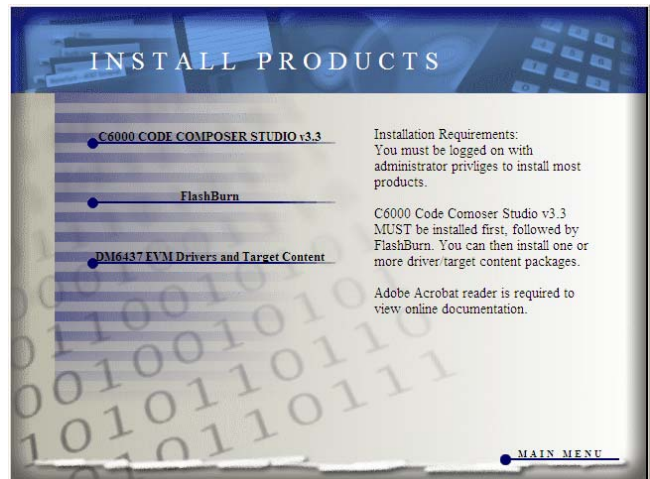
を実行してください。インストールメニューが表示されたら、INSTALL PRODUCTS をクリックしてください。



Step4. DM6437EVM ボードを使用してデバッグを行なうには、

- 1) C6000 Code Composer Studio v3.3
- 2) FlashBurn
- 3) DM6437EVM Drivers and Target Content

をインストールする必要があります。以下の各項目の説明に沿って、必要なソフトウェアをインストールしてください。



- 1) C6000 CODE COMPOSER STUDIO v3.3

EVM 専用の CCS v3.3 をインストールします。すでに PC に CCS がインストールされている場合には、2) にお進みください。

- 2) FlashBurn (オプション)

FlashBurn ユーティリティは DM6437EVM ボードに搭載されている Flash ROM にプログラムを書き込むプラグインツールです。EVM ボードに対応するツールは、Software Design Solutions (SDS)社より無償でダウンロードできます(要ユーザー登録)。

なお、この CD-ROM には FlashBurn は入っておりませんので、必要に応じて、ダウンロードしてインストールを行なってください。

URL: <http://www.softwaredesignsolutions.com/flashburn.aspx>

3) DM6437EVM Drivers and Target Content

DM6437EVM ボードを使用するために必要な USB ドライバやサンプルコード等をインストールします。CCS のインストールが終わったら、必ずこのソフトウェアをインストールしてください。

また、このソフトウェアは Spectrum Digital 社から無償でダウンロードすることができます。

URL : <http://c6000.spectrumdigital.com/evmdm6437/>

全てのインストールが完了すると、Windows のデスクトップに以下のアイコンが作成されます。



1.3 SoC Analyzer のインストール

このソフトウェアのインストールはオプションになります。必要に応じて、インストールを行なってください。

Step5. SoC Analyzer の CD-ROM を PC の CD ドライブに入れてください。自動的にインストールメニューが起動します。自動的に起動しない場合は、Windows エクスプローラから CD ドライブのルートディレクトリにある `dvt.exe` を実行し、指示に従って任意のディレクトリにインストールしてください。

インストールが終了すると、Windows のデスクトップに以下のアイコンが作成されます。



2 DM6437EVM ボードの接続

PC の USB ポートから DM6437EVM ボードを正しく認識するには、あらかじめ前項のソフトウェアをインストールしておく必要があります。ここでは、PC に EVM を認識させるための USB ドライバのインストール手順を示します。

Step6. EVM 付属の USB ケーブルを PC の USB ポートに接続します。EVM にはまだ接続しないで下さい。USB ハブに USB ケーブルを接続する場合には、ハブが PC に接続されていることを確認してください (ハブの電源も入れておいてください)。

注意: 開発中における USB ボード損傷を防止するために、USB ハブを介した接続を強くお奨めいたします。

Step7. モニタ、カメラ、スピーカー、ドーターカードなどを接続する場合には、EVM ボードに電源を入れる前に接続してください。

Step8. 電源コードを直流 5V 電源に接続し、電源をコンセントに差し込みます。それから、電源ケーブルと EVM ボード上の電源コネクタ(J16)を接続します。

警告: 電源ケーブルを先にコンセントに挿入してから、電源コネクタを EVM ボードに接続してください。

Step9. EVM ボードに電源が投入されると、Flash ROM 上のデモコードが実行されます。この時点で、EVM ボードは正常に機能し、USB ドライバのインストールに進むことができます。なお、デモの詳細については、付属の「TMS320DM6437 DVDP Getting Started Guide」の第 3 章をご参照ください。

Step10. 付属の CD-ROM が PC の CD ドライブに入っていることを確認し、USB ケーブルを DM6437EVM ボードに接続します。しばらくすると、Windows が新しいハードウェアを検出し、その旨を画面に表示します。USB ドライバは自動的に検出されますが、もし自動検出されない場合は、

C:\¥CCStudio_v3.3¥specdig¥xds510usb

ディレクトリを参照してください。

3 CCS の使用方法

最初に CCS の起動方法をご紹介します。より実践的な使用方法については、マニュアル、参考資料等をご覧ください。

3.1 CCS の起動

Windows 上のデスクトップに作成された「DM6437 EVM CCStudio v3.3」のアイコンをダブルクリックし、CCS を起動してください。その後は、設定が残っていますので、「CCStudio v3.3」のアイコンをダブルクリックしても起動できるようになります。異なった設定に変えてしまった場合には、再度専用アイコンより起動してください。より実践的な使用方法については、以下の CCS 入門マニュアルやオンライン・ヘルプファイル等をご活用ください。

- **Code Composer Studio 入門マニュアル**

弊社 HP のサイト内検索で *Code Composer Studio 開発ツール v3.3*(JAJU021)とキーワード検索してください。サイト内検索については HP 上のバナーにキーワード(もしくは文書番号)をいれるか

<http://focus.tij.co.jp/jp/tihome/docs/allsearches.tsp>

にアクセスして検索してください。

- **CCS チュートリアル**

CCS を起動後、プルダウン・メニューより Help -> Tutorial を選択してください。CCS の主要なコンポーネントの使用方法が記載されています。

- **C6000 オンライン・ヘルプファイル**

CCS を起動後、プルダウン・メニューより Help -> Contents を選択してください。C6000 のハードウェア、ソフトウェアに関する詳細な記述があります。

- **オンライン・マニュアル**

CCS を起動後、プルダウン・メニューより Help -> User Manuals を選択して頂くと、インストールされたマニュアル、ドキュメント類(PDF 形式)の一覧が表示されます。なお、マニュアル、ドキュメント類は常にアップデートされており、最新バージョンは弊社 Web サイトをご覧ください。一部のマニュアルに関しまして日本語版もご用意しております。

ご注意

日本テキサス・インスツルメンツ株式会社(以下TIJといひます)及びTexas Instruments Incorporated(TIJの親会社、以下TIJないしTexas Instruments Incorporatedを総称してTIJといひます)は、その製品及びサービスを任意に修正し、改善、改良、その他の変更をし、もしくは製品の製造中止またはサービスの提供を中止する権利を留保します。従ひまして、お客様は、発注される前に、関連する最新の情報を取得して頂き、その情報が現在有効かつ完全なものであるかどうかご確認下さい。全ての製品は、お客様とTIJとの間に取引契約が締結されている場合は、当該契約条件に基づき、また当該取引契約が締結されていない場合は、ご注文の受諾の際に提示されるTIJの標準販売契約約款に従って販売されます。

TIJは、そのハードウェア製品が、TIJの標準保証条件に従ひ販売時の仕様に対応した性能を有していること、またはお客様とTIJとの間で合意された保証条件に従ひ合意された仕様に対応した性能を有していることを保証します。検査およびその他の品質管理技法は、TIJが当該保証を支援するのに必要とみなす範囲で行なわれております。各デバイスの全てのパラメーターに関する固有の検査は、政府がそれ等の実行を義務づけている場合を除き、必ずしも行なわれておりません。

TIJは、製品のアプリケーションに関する支援もしくはお客様の製品の設計について責任を負うことはありません。TI製部品を使用しているお客様の製品及びそのアプリケーションについての責任はお客様にあります。TI製部品を使用したお客様の製品及びアプリケーションについて想定される危険を最小のものとするため、適切な設計上および操作上の安全対策は、必ずお客様にてお取り下さい。

TIJは、TIの製品もしくはサービスが使用されている組み合わせ、機械装置、もしくは方法に関連しているTIの特許権、著作権、回路配置利用権、その他のTIの知的財産権に基づいて何らかのライセンスを許諾するということは明示的にも黙示的にも保証も表明もしておりません。TIJが第三者の製品もしくはサービスについて情報を提供することは、TIJが当該製品もしくはサービスを使用することについてライセンスを与えるとか、保証もしくは承認を意味しません。そのような情報を使用するには第三者の特許その他の知的財産権に基づき当該第三者からライセンスを得なければならない場合もあり、またTIの特許その他の知的財産権に基づきTIからライセンスを得て頂かなければならない場合もあります。

TIJのデータ・ブックもしくはデータ・シートの中にある情報を複製することは、その情報に一切の変更を加えること無く、かつその情報と結び付けられた全ての保証、条件、制限及び通知と共に複製がなされる限りにおいて許されるものとします。当該情報に変更を加えて複製することは不正で誤認を生じさせる行為です。TIJは、そのような変更された情報や複製については何の義務も責任も負いません。

TIJの製品もしくはサービスについてTIJにより示された数値、特性、条件その他のパラメーターと異なる、あるいは、それを超えてなされた説明で当該TI製品もしくはサービスを再販売することは、当該TI製品もしくはサービスに対する全ての明示的保証、及び何らかの黙示的保証を無効にし、かつ不正で誤認を生じさせる行為です。TIJは、そのような説明については何の義務も責任もありません。

TIJは、TIの製品が、安全でないことが致命的となる用途ないしアプリケーション(例えば、生命維持装置のように、TI製品に不良があった場合に、その不良により相当な確率で死傷等の重篤な事故が発生するようなもの)に使用されることを認めておりません。但し、お客様とTIJの双方の権限有る役員が書面でそのような使用について明確に合意した場合は除きます。たとえTIJがアプリケーションに関連した情報やサポートを提供したとしても、お客様は、そのようなアプリケーションの安全面及び規制面から見た諸問題を解決するために必要とされる専門的知識及び技術を持ち、かつ、お客様の製品について、またTI製品をそのような安全でないことが致命的となる用途に使用することについて、お客様が全ての法的責任、規制を遵守する責任、及び安全に関する要求事項を満足させる責任を負っていることを認め、かつそのことに同意します。さらに、もし万一、TIの製品がそのような安全でないことが致命的となる用途に使用されたことによって損害が発生し、TIないしその代表者がその損害を賠償した場合は、お客様がTIないしその代表者にその全額の補償をするものとします。

TI製品は、軍事的用途もしくは宇宙航空アプリケーションないし軍事的環境、航空宇宙環境にて使用されるようには設計もされていませんし、使用されることを意図されておられません。但し、当該TI製品が、軍需対応グレード品、若しくは「強化プラスチック」製品としてTIJが特別に指定した製品である場合は除きます。TIJが軍需対応グレード品として指定した製品のみが軍需品の仕様書に合致いたします。お客様は、TIJが軍需対応グレード品として指定していない製品を、軍事的用途もしくは軍事的環境下で使用することは、もっぱらお客様の危険負担においてなされるということ、及び、お客様がもっぱら責任をもって、そのような使用に関して必要とされる全ての法的要求事項及び規制上の要求事項を満足させなければならないことを認め、かつ同意します。

TI製品は、自動車用アプリケーションないし自動車の環境において使用されるようには設計されていませんし、また使用されることを意図されておられません。但し、TIJがISO/TS 16949の要求事項を満たしていると特別に指定したTI製品は除きます。お客様は、お客様が当該TI指定品以外のTI製品を自動車用アプリケーションに使用しても、TIJは当該要求事項を満たしていなかったことについて、いかなる責任も負わないことを認め、かつ同意します。

Copyright © 2008, Texas Instruments Incorporated
日本語版 日本テキサス・インスツルメンツ株式会社

弊社半導体製品の取り扱い・保管について

半導体製品は、取り扱い、保管・輸送環境、基板実装条件によっては、お客様での実装前後に破壊/劣化、または故障を起こすことがあります。

弊社半導体製品のお取り扱い、ご使用にあたっては下記の点を遵守して下さい。

1. 静電気

素手で半導体製品単体を触らないこと。どうしても触る必要がある場合は、リストストラップ等で人体からアースをとり、導電性手袋等をして取り扱うこと。

弊社出荷梱包単位(外装から取り出された内装及び個装)又は製品単品で取り扱いを行う場合は、接地された導電性のテーブル上で(導電性マットにアースをとったもの等)、アースをした作業者が行うこと。また、コンテナ等も、導電性のものを使用すること。

マウンタやはんだ付け設備等、半導体の実装に関わる全ての装置類は、静電気の帯電を防止する措置を施すこと。前記のリストストラップ・導電性手袋・テーブル表面及び実装装置類の接地等の静電気帯電防止措置は、常に管理されその機能が確認されていること。

2. 温・湿度環境

温度: 0 ~ 40 °C、相対湿度: 40 ~ 85%で保管・輸送及び取り扱うこと。(但し、結露しないこと。)

直射日光があたる状態で保管・輸送しないこと。

3. 防湿梱包

防湿梱包品は、開封後は個別推奨保管環境及び期間に従ひ基板実装すること。

4. 機械的衝撃

梱包品(外装、内装、個装)及び製品単品を落下させたり、衝撃を与えないこと。

5. 熱衝撃

はんだ付け時は、最低限260 °C以上の高温状態に、10秒以上さらさないこと。(個別推奨条件がある時はそれに従うこと。)

6. 汚染

はんだ付け性を損なう、又はアルミ配線腐食の原因となるような汚染物質(硫黄、塩素等ハロゲン)のある環境で保管・輸送しないこと。はんだ付け後は十分にフラックスの洗浄を行うこと。(不純物含有率が一定以下に保証された無洗浄タイプのフラックスは除く。)

以上